きらりん　えがお　No.１４

令和６年１１月１１日
平田幼稚園
園長　田中佳江

11 月になり、急に冷え込んできました。大人は防寒具で対応したりしますが、子ども達は体を存分に動かして遊ぶので「暑い」「汗をかいた」というほど元気いっぱいです。ただ、これからますます寒い日が多くなってくると思います。手洗い・うがい・栄養・休息を心がけ、体調に気を付けていきましょう。

各クラスの遊びが充実しています

運動会や遠足を経験したり、園外保育やいろいろな体験をしたりして、子ども達はクラスで共通体験したことを遊びに活かしたり、遊びへの意欲が高まったりしてきました。その様子や遊びに込める担任の願い等を紹介します。

【年少児】保育室に入ると、段ボールでできた大きな一畑電車、絵本からイメージしたお化け屋敷、積み木にマットを乗せて作った山、木の実のごちそう作りの場、何かを転がしたら音が鳴る場など、楽しそうな遊びの場がたくさんあります。子ども達は、おばけになって脅かしたり、山の上でお弁当を食べたり、紙を丸めて作ったおむすびを山から転がして自分も転がったり・・・自分のしたい遊びを楽しみます。友達の様子が見えるので自分も寄っていって、いつしか４人が同じ遊びをしていることもあります。４人という人数なので、ともすれば個々の遊びになってしまいがちです。そこで担任はこの時期に友達との関わりを十分にしてほしいという願いをもって、遊びの一番最初にみんなで一畑電車に乗ってそこから好きな遊び場へ行くようにしたり、関わりが生まれやすいような場の配置を工夫したりしています。

【年中児】宍道湖グリーンパークでの野鳥観察や園外保育で見つけた鳥などから、鳥に興味をもちました。カラービニールを羽にして鳥になったり、飛行機のように飛ぶ鳥や鳥の巣を作ったり、ペープサートの鳥が遊ぶ場やお話を考えたりしています。「こんな鳥になりたい」「鳥の巣を高くしたい」「鳥が遊べるブランコを大きくしたい」などイメージを沸かせて願いをもちますが、まだ自分だけの力では実現が難しいので、担任が様々な材料を準備してすぐ使えるようにしたり、思いをじっくりと聞いて難しい所だけを手伝って、後は自分でできるよう見守ります。「できた」「見て」と自分の願いが実現した時の笑顔はキラキラしています。クラスみんなで同じイメージの中で遊ぶ楽しさも味わっています。

【年長児】川探検や海辺への園外保育、飛行場見学など様々な共通体験や、そこから「こんな風にしたい」というイメージ、一学期の遊びの経験などが合わさって『あおぐみワールド』の遊びが遊戯室いっぱいに広がっています。一学期に経験したゴムの動力を生かし、いろいろな素材の飛行機を遠くへ飛ばす遊び、「海の底まで行くような転がし迷路が作りたい」と壁にペットボトルをくっつけた迷路遊び、箱や板に迷路を作りゴムの動力でボールを弾いて転がしたり、友達と二人で揺らしながらボールをゴールへ入れたりする遊び。そのどれもが、自分なりに考えたり、試行錯誤したり、工夫したり、友達と思いを伝え合って遊びを進めたりする姿が見られます。担任は、そうした子ども達の育ちを認め支えながら、この時期に「遊びの仲間で『今日のめあて』をもって共同する力を育てたい」と願い、遊び場ごとに思いを聞いたり、困っている時はどうしたらいいのか投げかけたり、ヒントを出したりして、自分達で遊びを進め、実現させる面白さを感じるよう関わっています。

⇩

７日（木）には、こうした姿を保育公開で見ていただけたのではないかと思います。その姿を思い出し、私達教師がどのような願いをもって子ども達に日々関わっているのか、少しでも知っていただけたら嬉しいです。

また、ＰＴＡ研修会では、「親学」で「子どもに経験させたいこと」をグループワークしていただきました。みなさん、活発に思いを出し合っておられ、時に笑い声や笑顔もあり、良い研修会だったのではと思います。ご多用の中お出かけいただき、ありがとうございました。

一畑薬師の石段登りをしたよ

５日（月）は、平田幼稚園恒例の全園児での一畑薬師石段登りをしました。曇り空で気温はあまり高くなかったものの登り始めると体が温かくなり、子ども達は頂上目指して一歩一歩足を進めました。どんどん上を目指したり、友達や先生と一緒に励まし合ったり、自分のペースで登ったり・・全員が頂上へ到着できました。「大変だったけど、頑張ったよ」というその顔は、達成感にあふれていました。その後、住職さんから目のお薬師様の由来を聞いたり、本堂にお参りして目の健康をお祈りしたりしました。風が冷たかったので、お饅頭は園に帰ってから美味しくいただきましたよ。